

平成 18 年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例」の出題の趣旨

第 1 問（配点 20 点）

B 社のような規模のテニススクールが大手テニススクールに対して競争を挑んでいく上で、B 社が採用すべき差別化戦略がどうあるべきかを分析する問題である。

第 2 問（配点 15 点）

サービスが持つ無形性、生産と消費の同時性などの特有の性質を理解した上で、B 社が需要の変動に対して、提供しているサービスをサービスの流通という側面において、どのように対処しているのかを分析する問題である。

第 3 問（配点 30 点）

B 社が新規事業として学習塾を始めるに当たって、B 社が持っている経営資源を有形資源と無形資源に分類・整理し、その中で学習塾の経営に生かせるものを分析する能力と新規事業への応用力を問う問題である。

第 4 問（配点 15 点）

B 社が新規事業として学習塾を始めるに当たって、競合他社に対し新規参入業者として、B 社の持つ経営資源をどのように生かした差別化戦略で挑むべきかを分析する能力と問題解決能力を問う問題である。

第 5 問（配点 20 点）

学習塾以外に実現可能なものとして想定される B 社の新規事業について、その戦略ドメインを導き出すために、市場ニーズ、顧客層に対して、独自能力をどのように統合していくかという、分析力と創造力を問う問題である。

以上